

スマートフィーディング実証事業に係る現地検討会開催要領

1 目的

輸入原料に過度に依存した畜産から国産飼料に立脚した畜産への転換を推進し、飼料自給率の向上を図るためには、自給飼料の利用を進め、輸入飼料の給与量低減に資する技術(スマートフィーディング)の普及を図ることが重要な課題となっている。

このため、配合飼料給与量の低減に資する国産濃厚飼料(イアコーンサイレージ等)の生産・利用技術に関する研修会及び当協会が取り組んでいるスマートフィーディング実証事業に係る実証展示事例に学ぶ現地検討会を行う。

2 主催 一般社団法人日本草地畜産種子協会、北海道農政事務所

3 実施内容

(1) 座学研修会

平成30年度自給飼料増産対策関係予算概算要求の概要、イアコーンサイレージ及び子実サイレージの生産・利用技術に関する講演及び意見交換等を行う。

(2) 現地検討会

平成28年度スマートフィーディング実証事業の事業参加者によるイアコーン等の収穫実演及び意見交換等を行う。

4 参集範囲

農家、農協、農協連、市町村、都道府県、普及・研究機関、関係団体等 80名程度

5 場所

(1) 座学研修会 道の駅あさひかわ会議室(北海道旭川市神楽4条6丁目1番12号)

(2) 現地検討会 有限会社ジェネシス美瑛(北海道上川郡美瑛町字夕張)

6 日時 平成29年10月17日(火)

(1) 開会 10:00~10:05(5分)

(2) 座学研修会(基調講演)

① 平成30年度自給飼料関係予算概算要求の概要について 10:05~10:30(25分)
農林水産省生産局畜産部飼料課飼料生産計画班

② イアコーン・子実サイレージの生産技術について(仮題) 10:30~12:00(90分)
国立研究開発法人 農研機構北海道農業研究センター
酪農研究領域長 大下 友子 氏

- 座学研修会会場からジェネシス美瑛へ移動(所要約40分) -

(3) 現地検討会

イアコーン・トウモロコシ子実の収穫実演 14:00~15:00(60分)
ジェネシス美瑛 代表取締役社長 浦 敏男 氏

(4) 閉会

7 研修会の参加(受講)料

無料(ただし、旅費等参加に要する経費は各自負担)

8 参加申し込み方法

別添「参加申込書」による。締め切りは平成29年10月6日(金)、宛先は(一社)日本草地畜産種子協会です。

9 その他

① 座学研修会場の駐車場について

座学研修会に参加される方は「道の駅あさひかわ」の駐車場をご利用下さい。

② 昼食について

昼食は各自でお取りください。

※ 「道の駅あさひかわ」のフードスペース等を利用可能です。

③ 現地検討会開催場所への移動手段について

ア 借上げバスをご利用の方

「道の駅あさひかわ」前に13時00分(時間厳守)までにお集まり下さい。

バスを利用される方は、参加申込書にバス利用の有無を記入して下さい。

なお、このバスは、現地研修会終了後、旭川空港を經由して、JR旭川駅まで運行(所要約70分(道路事情により変動))いたします。

イ 車で移動される方

車で移動される方は、現地研修会を開催するジェネシス美瑛(北海道上川郡美瑛町字夕張)に直接お越し下さい。ジェネシス美瑛までの地図を用意し、座学会場にて配布する予定です。

④ 問い合わせ先

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 草地畜産部 伊藤雅敏

(FAX:03-3251-6507、E-mail:itoh@souti-fsa.or.jp、TEL:03-3251-6501)